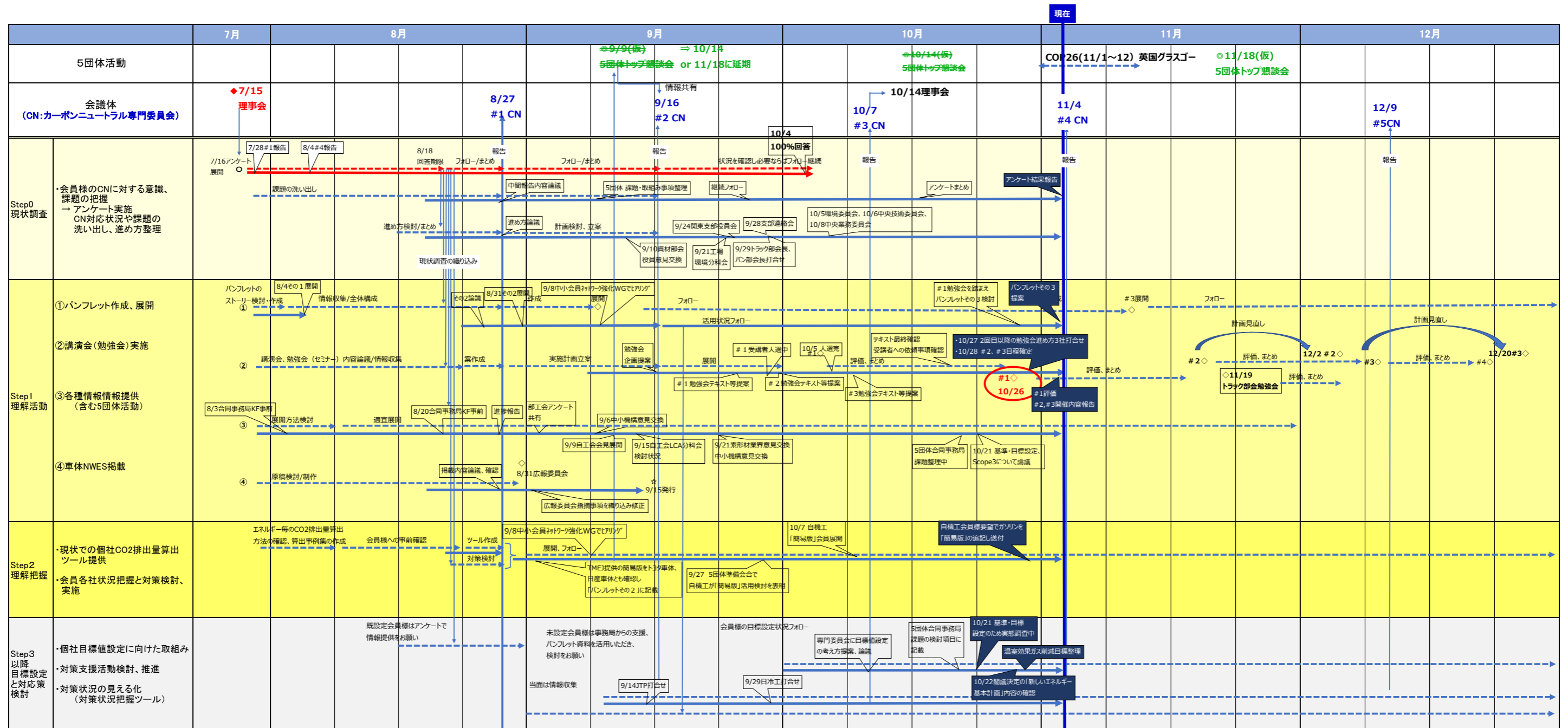


第4回CN専門委員会 次第

1. 進捗確認
2. CNアンケートまとめ
3. 第1回CN勉強会開催結果報告と
第2回、3回勉強会について
4. パンフレットその3
5. 自動車5団体活動進捗状況

2021.11.4
車工会 事務局

カーボンニュートラル取組み(2021年12月まで)



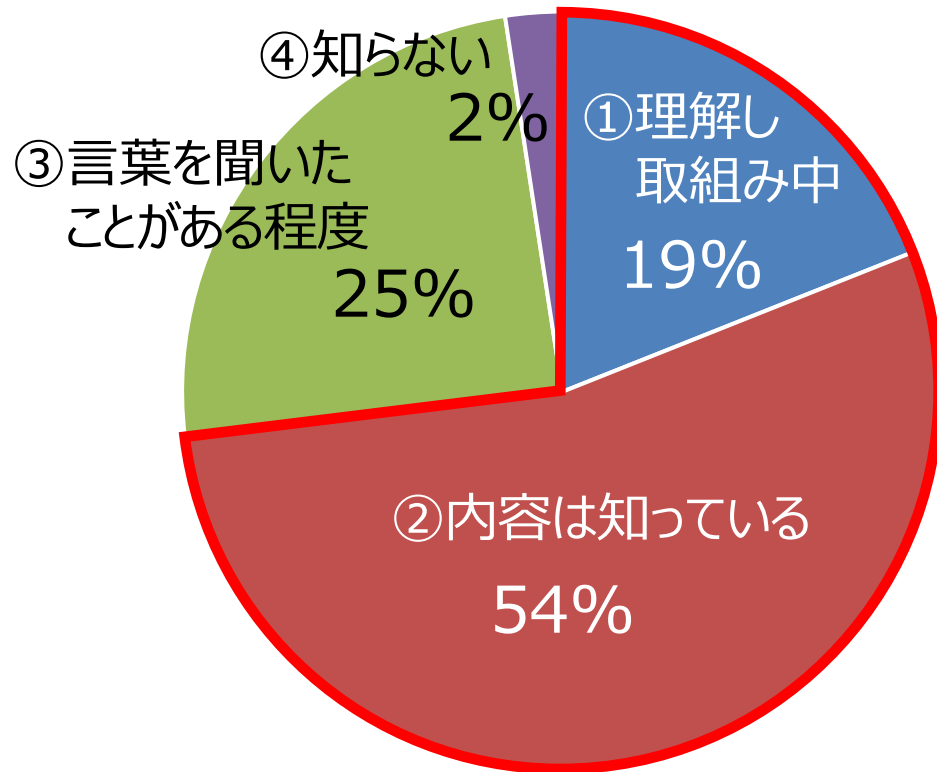
2. CNアンケート集計【企業規模別】

【生産領域】

<カーボンニュートラル理解度>

Q1 カーボンニュートラルについて知っていますか？

全会員：290社

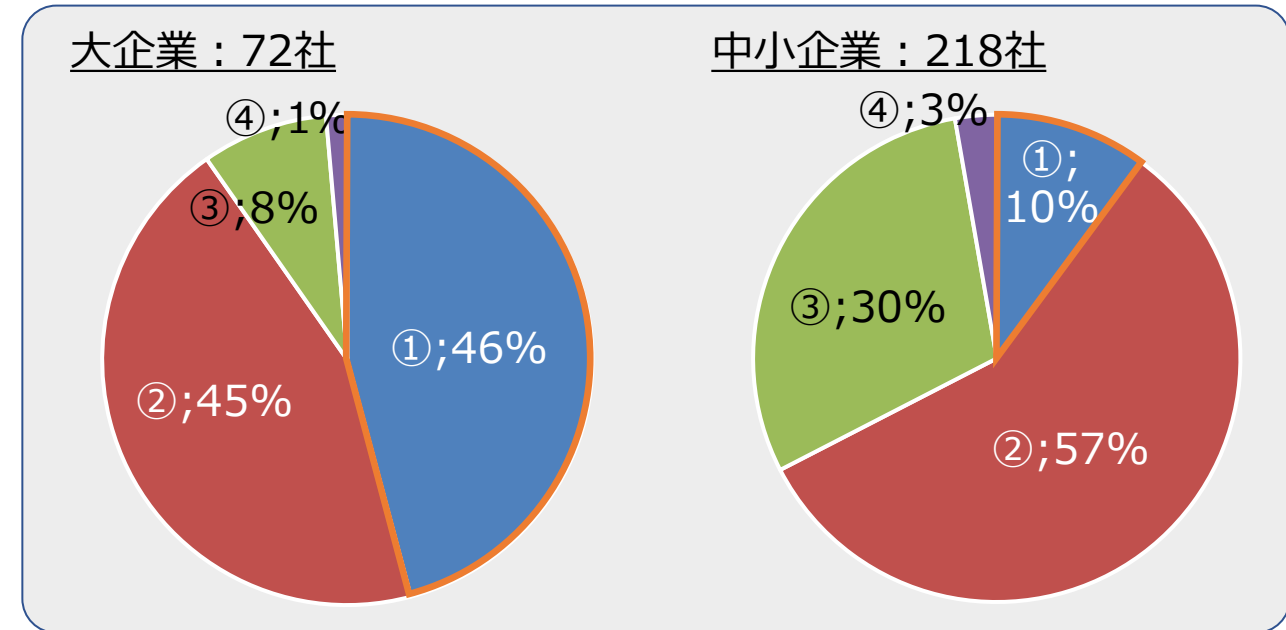


企業規模

- ・大企業 78社
- ・中小企業※ 227社

※定義（中小企業基本法に基づく）

- ・資本金 3億円以下
- ・従業員 300人以下

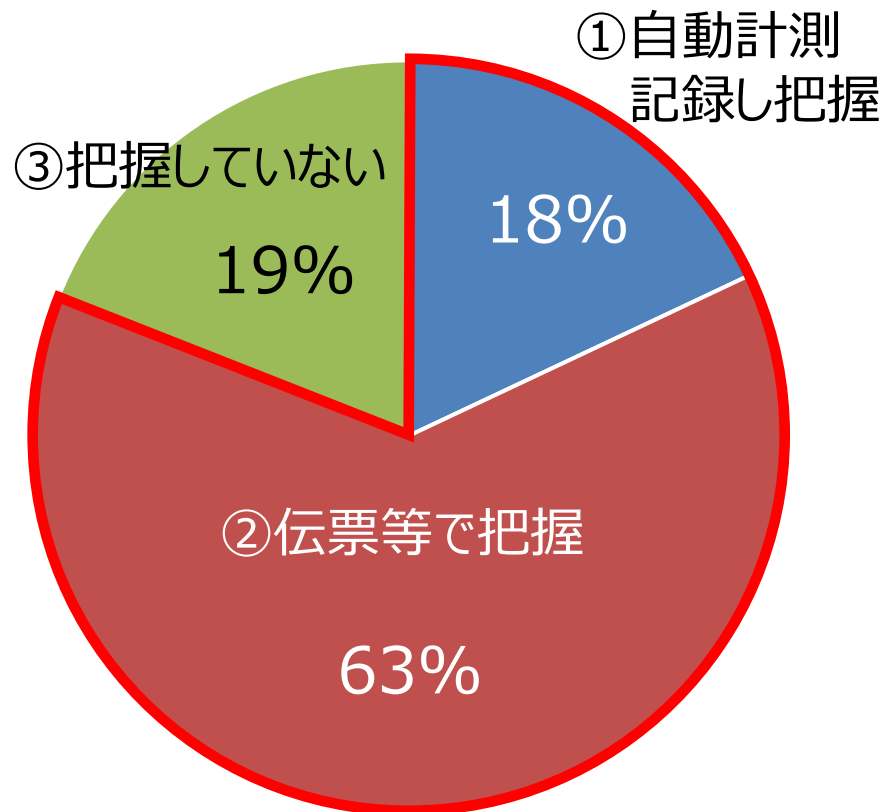


全体で約70%が理解、社内活動の実施割合は低い
 「①理解し取組み中」が約半数の大企業に対し中小企業は10%であり、
 「何をすれば良いかわからない」等のコメント多数

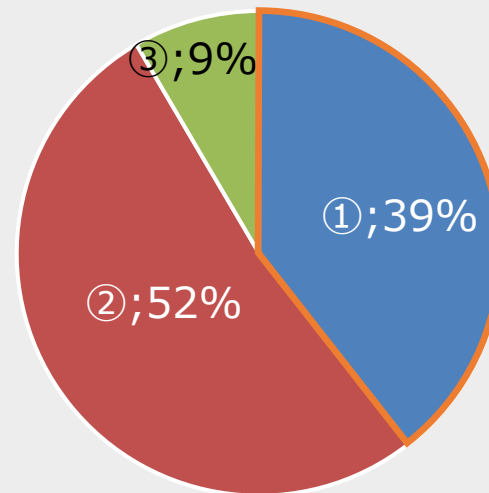
<エネルギーに関する意識>

Q2 自社の企業活動で使用する、電気等のエネルギー使用量を把握し、記録をしていますか？

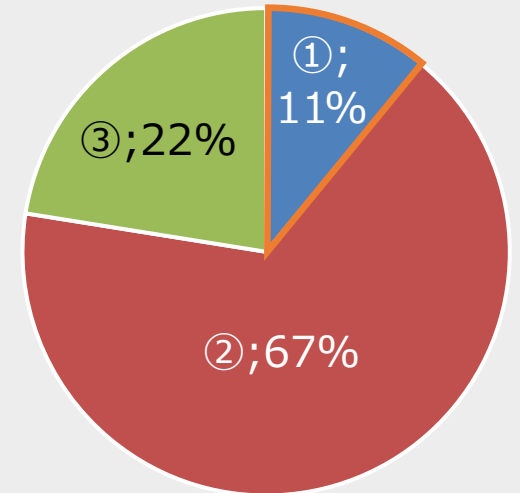
全会員：289社



大企業：71社



中小企業：218社



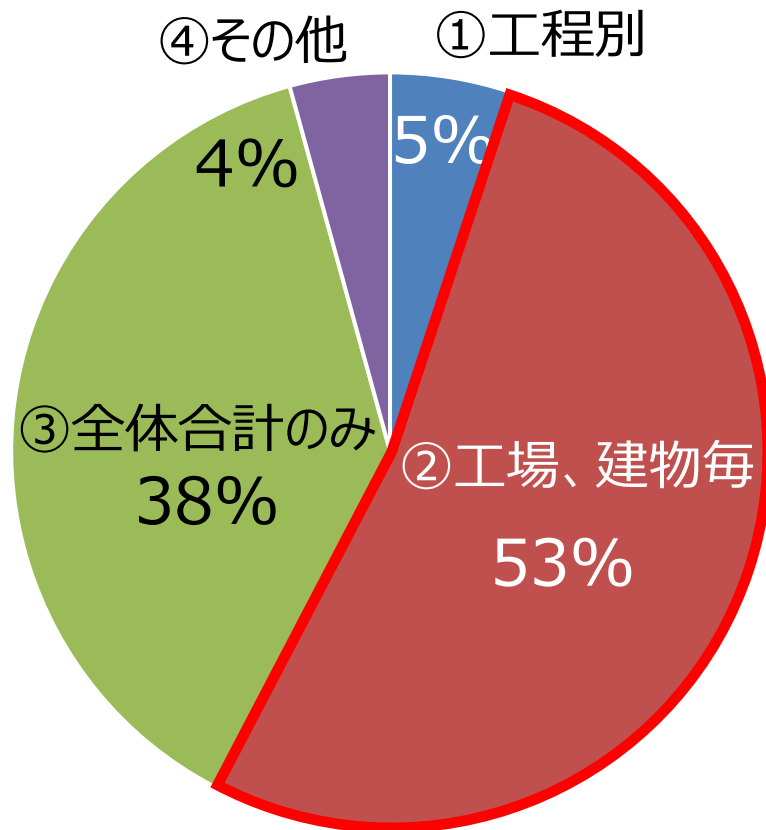
全体で約80%がエネルギー量を把握

「①自動計測・記録」をしているのは大企業が多く、中小企業は少ない
また、中小企業は「③把握していない」も多い

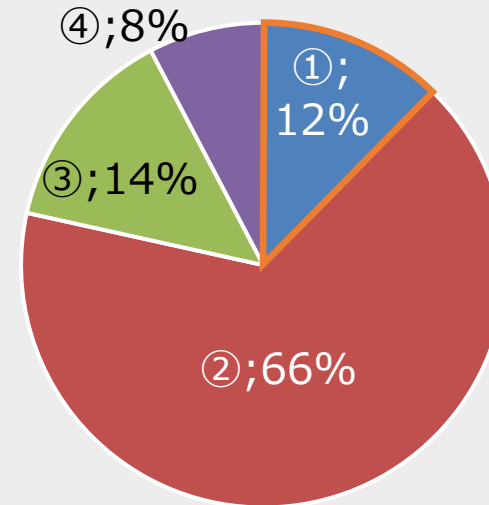
<エネルギーに関する意識>

Q3 (エネルギー使用量を把握している会社のうち)どれくらいの範囲でエネルギー使用量を把握していますか？

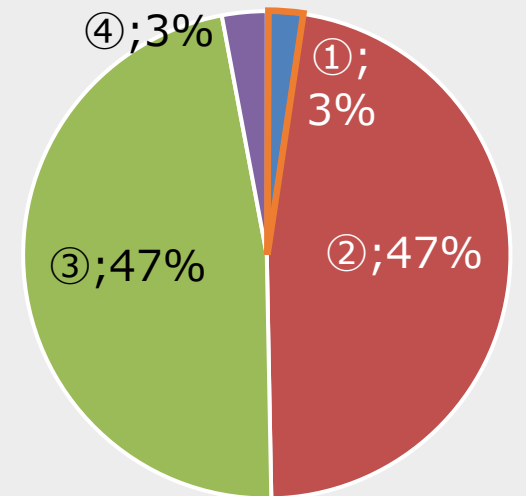
全会員：234社



大企業：65社



中小企業：169社



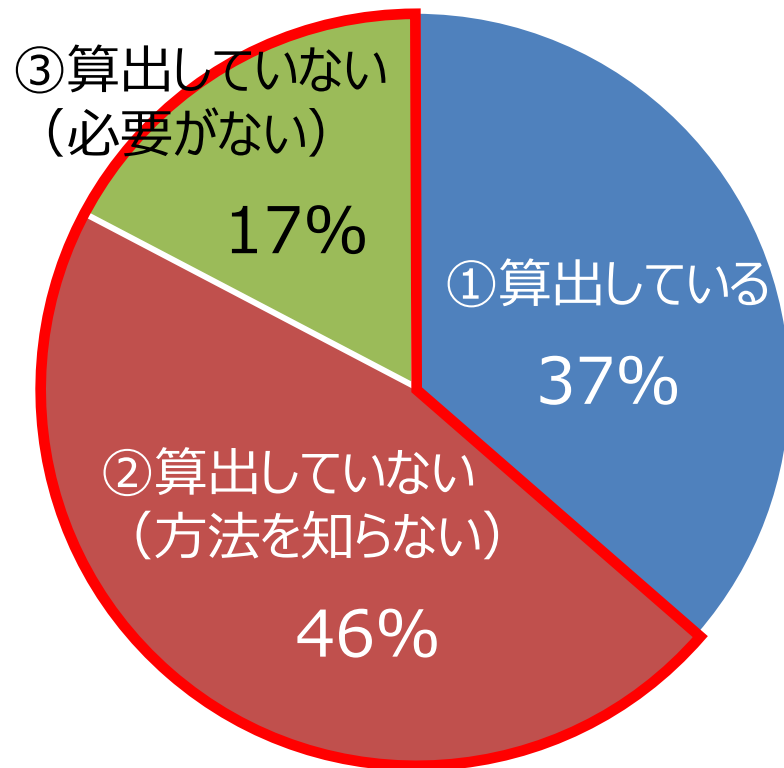
約半数が、工場・建物毎にエネルギー量を把握

中小企業は工程別まで把握している割合が低い

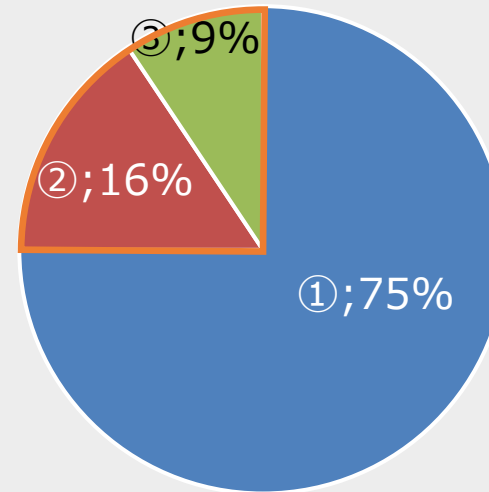
<エネルギーに関する意識>

Q4 把握しているエネルギー使用量から、CO2排出量を算出していますか？

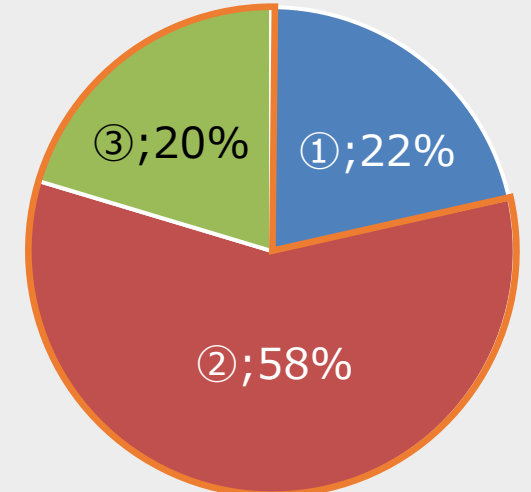
全会員：231社



大企業：64社



中小企業：167社



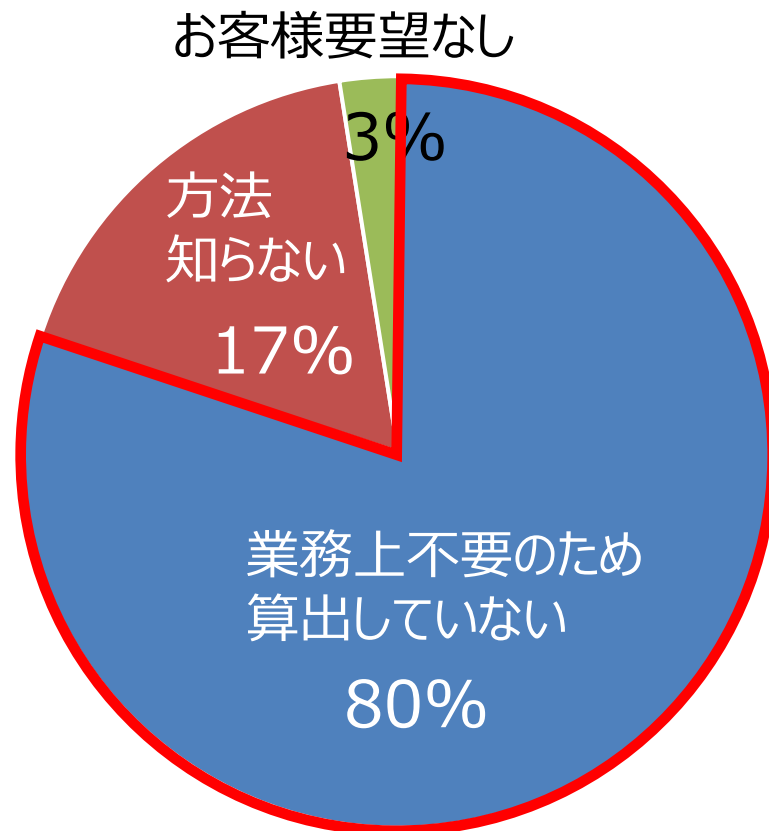
CO2排出量の算出していない企業が約60%

大企業の75%が算出をしているのに対し、中小企業は約20%であり
中小企業は③を含めると80%算出方法を知らない

<エネルギーに関する意識>

Q5 エネルギー使用量を把握していない理由を教えてください

回答：40社



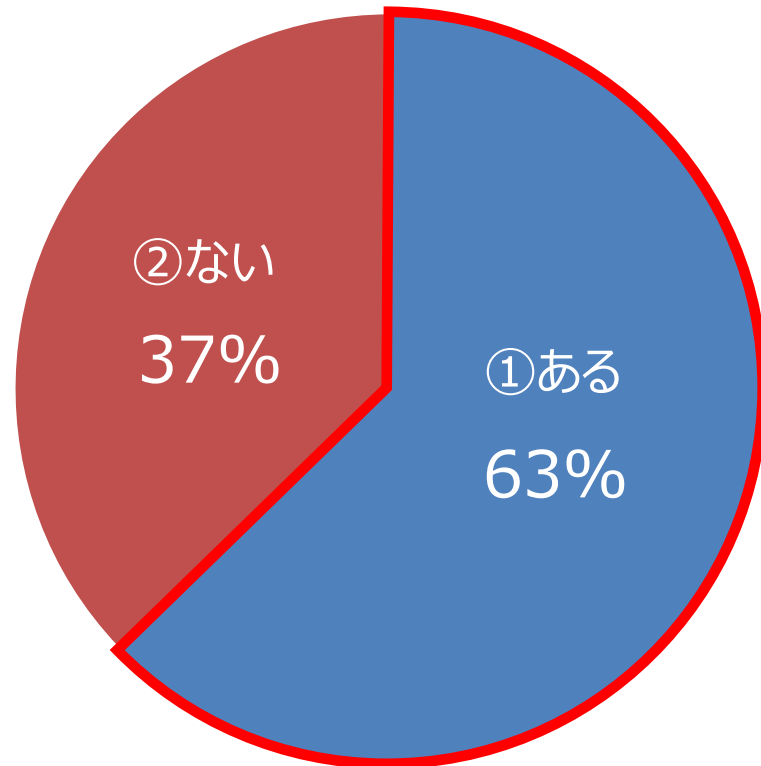
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|-----------------------------|
| | 大企業 | エネルギー使用量が少なく、現状では必要性を感じないため |
| | 大企業 | 特に把握し記録する部署・業務が存在しないため |
| | 中小企業 | 把握の必要性を感じないため |
| | 中小企業 | 現状必要性にかられていないため |
| | 中小企業 | 請求書は保管しているが、集計等はしていない |
| | 中小企業 | 自社工場を保有していない為、算出ができない |
| | 中小企業 | 各エネルギーにおけるCO2換算等よくわからない |
| | 中小企業 | CO2排出量の算定方法を知らない |
| | 中小企業 | 顧客等から求められていない |

業務上不要が80%であるが、必要になれば把握に転じる可能性あり

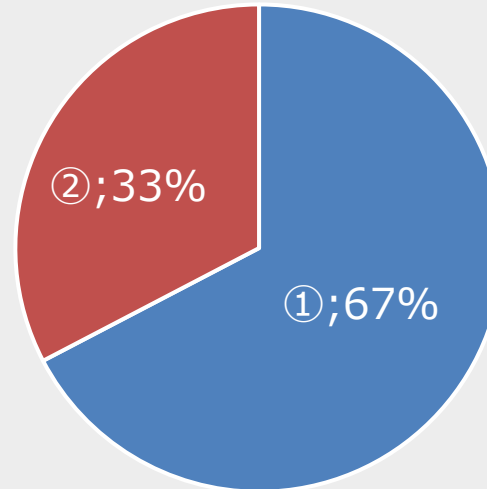
<CO2低減目標の設定>

Q6 (CO2排出量を把握している会社のうち) CO2低減目標はありますか？

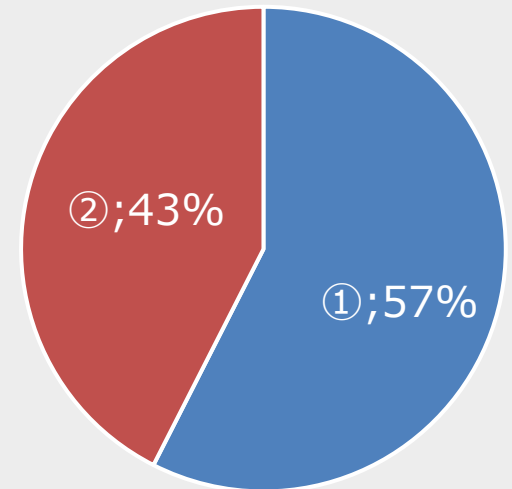
全会員：89社



大企業：49社



中小企業：40社



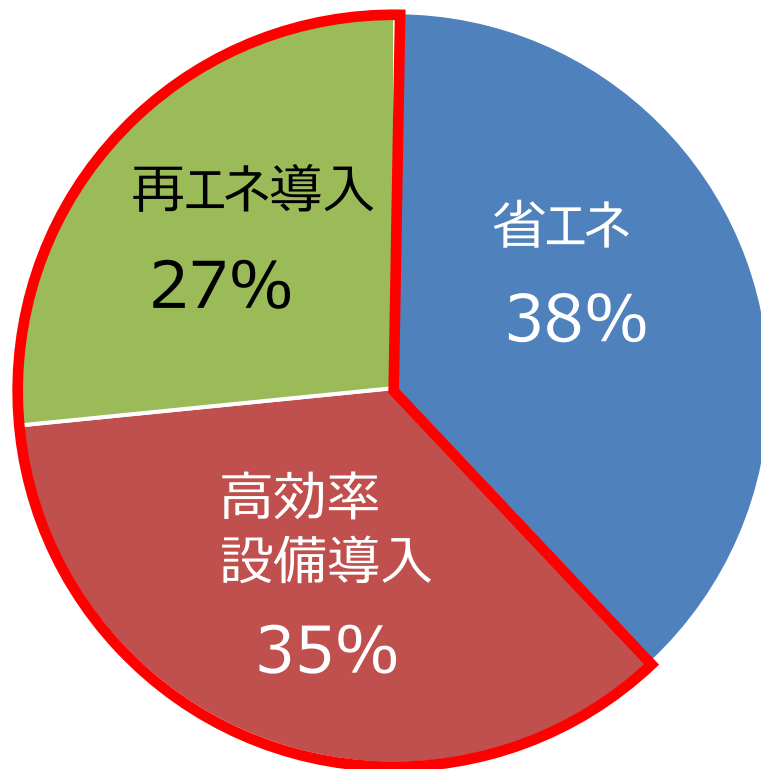
**CO2排出量を把握している企業の多くが
低減目標を設定している**

大企業、中小企業の規模による大きな差はない

<CO2低減目標>

Q7 目標達成に向けた具体的な活動

回答：63社



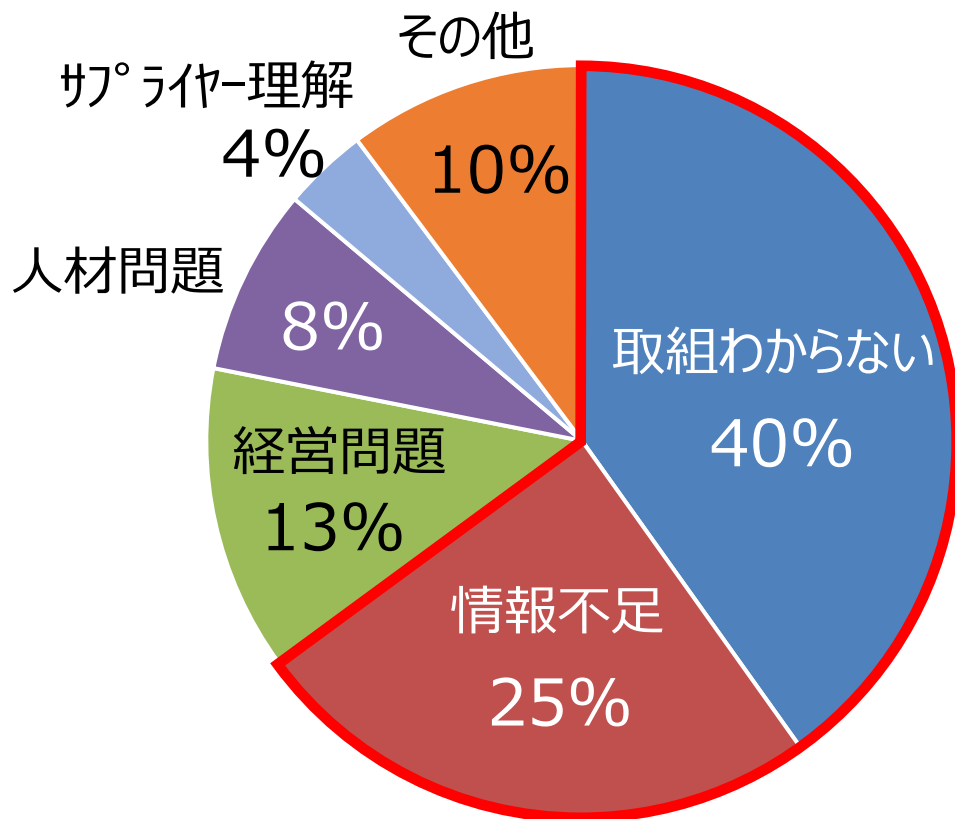
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|--------------------------|
| | 大企業 | 工場での生産効率向上、エネルギー使用効率向上 |
| | 大企業 | エネルギー診断活動により省エネ施策アイテムを創出 |
| | 中小企業 | 電気使用量の削減等 |
| | 中小企業 | コピー用紙使用量削減、資源ごみ分別活動 |
| | 大企業 | 設備老代時に省エネ機器導入 |
| | 大企業 | 設備更新時の新技術導入 |
| | 大企業 | LED照明への切り替え |
| | 大企業 | 化石燃料由来以外の電力への切替え |
| | 中小企業 | 自家消費型太陽光導入 |

約40%が基本的な省エネ活動を進めており、残り約60%は、設備更新が必要と認識している

<CNの取組み>

Q8 生産領域、管理業務において困っていること

回答：135社



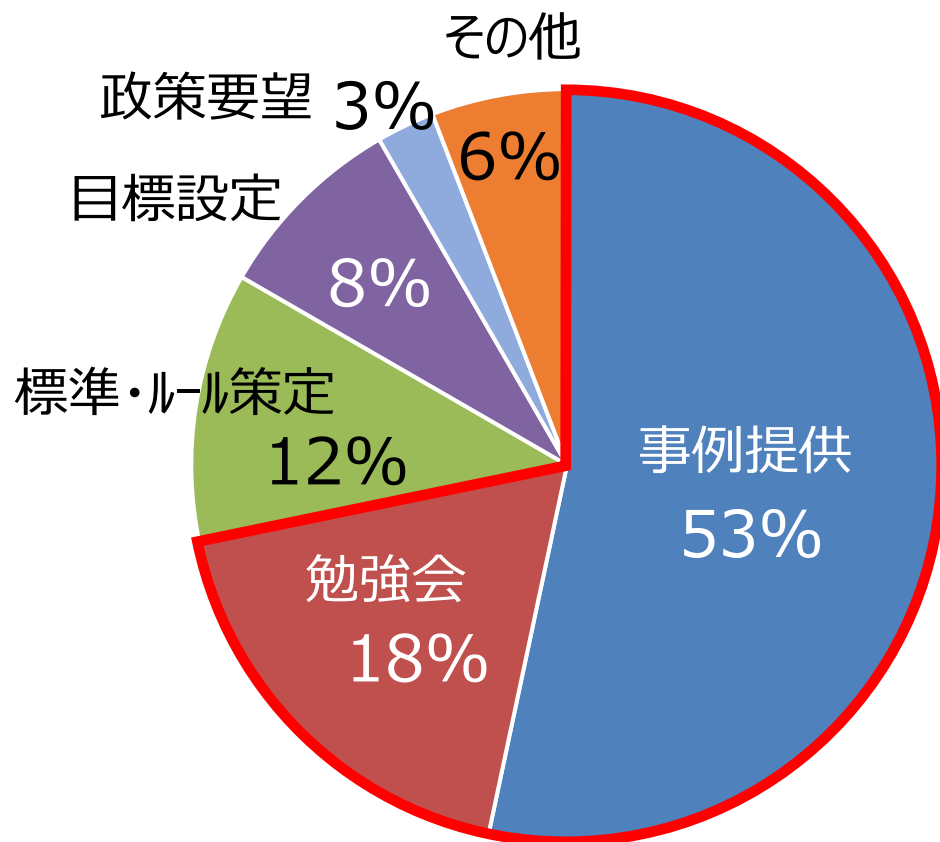
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|----------------------------|
| | 中小企業 | 推進する上での具体的な実務内容がよくわからない |
| | 中小企業 | カーボンニュートラルの推進が社内業務に浸透していない |
| | 中小企業 | CO2排出量をどのように把握すればよいか分からない |
| | 中小企業 | カーボンニュートラルの推進方法が具体的には不明 |
| | 中小企業 | 現状では推進する必要性が感じられていない |
| | 中小企業 | 中規模の架装メーカーで取り組んでいる例等を知りたい |
| | 中小企業 | 零細企業なので、周囲の状況を見ながらと思っている |
| | 大企業 | 生産コストの上昇が予想される |
| | 中小企業 | 管理する為の人材がない |

情報不足を含め、65%がCN取組み判断が出来ず困っている状況

<CNの取組み>

Q9 車工会への期待すること

回答：112社



| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|---------------------------|
| | 中小企業 | 推進するための具体例などを示して欲しい |
| | 中小企業 | 方法の提案や他社の事例を開示して欲しい |
| | 中小企業 | 改善提案など、今日からでも出来る情報の共有 |
| | 中小企業 | 方法の提案や他社の事例を開示して欲しい |
| | 中小企業 | 改善提案など、今日からでも出来る事など、情報の共有 |
| | 中小企業 | 他社の導入事例（投資対効果）、補助金・助成金情報 |
| | 中小企業 | 同業他社における削減事例を紹介 |
| | 中小企業 | 架装、艀装メーカーとしてやるべきことを勉強する機会 |
| | 中小企業 | 中小企業でもうまく運営出来るアドバイス |
| | 中小企業 | 経営を無駄に圧迫させる方向には進んでほしくない |
| | 中小企業 | 業務への負担が極力かからないようなシステム運用 |
| | 中小企業 | 会社規模別の目標値を設定 |

判断材料の提供期待が約70%

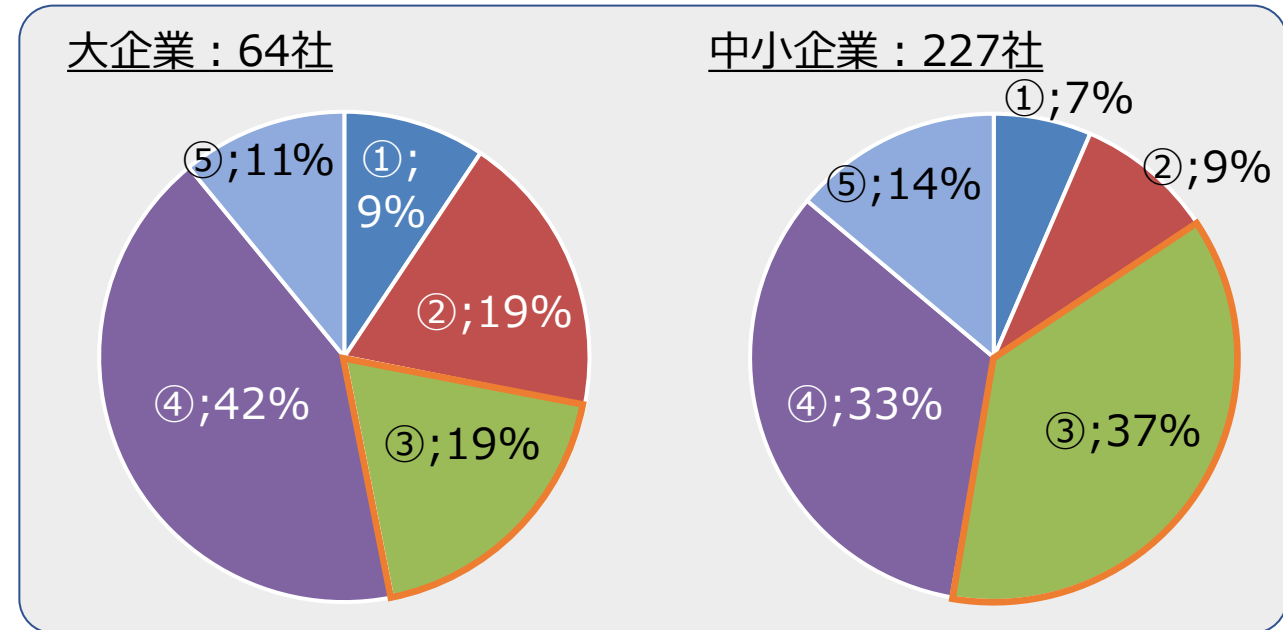
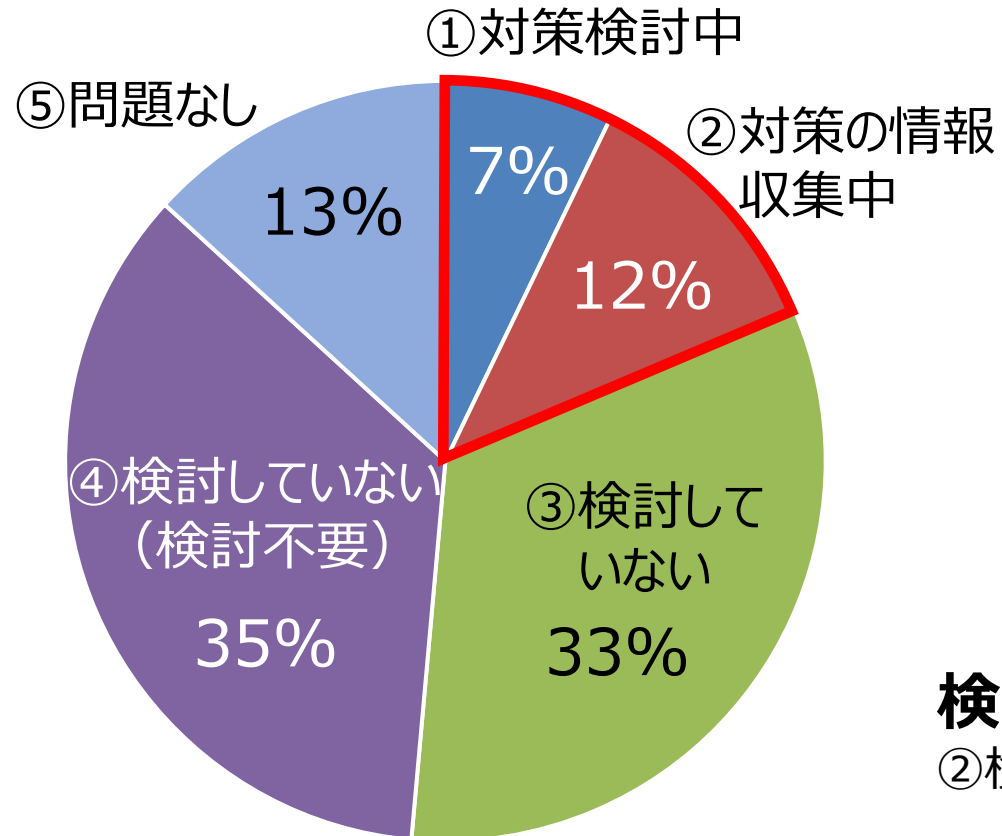
2. CNアンケート集計【企業規模別】

【製品領域】

<製品について想定される影響と対応>

Q1 トラックシャシ電動化に伴う架装用動力の問題について対策は検討されていますか？

全会員：280社



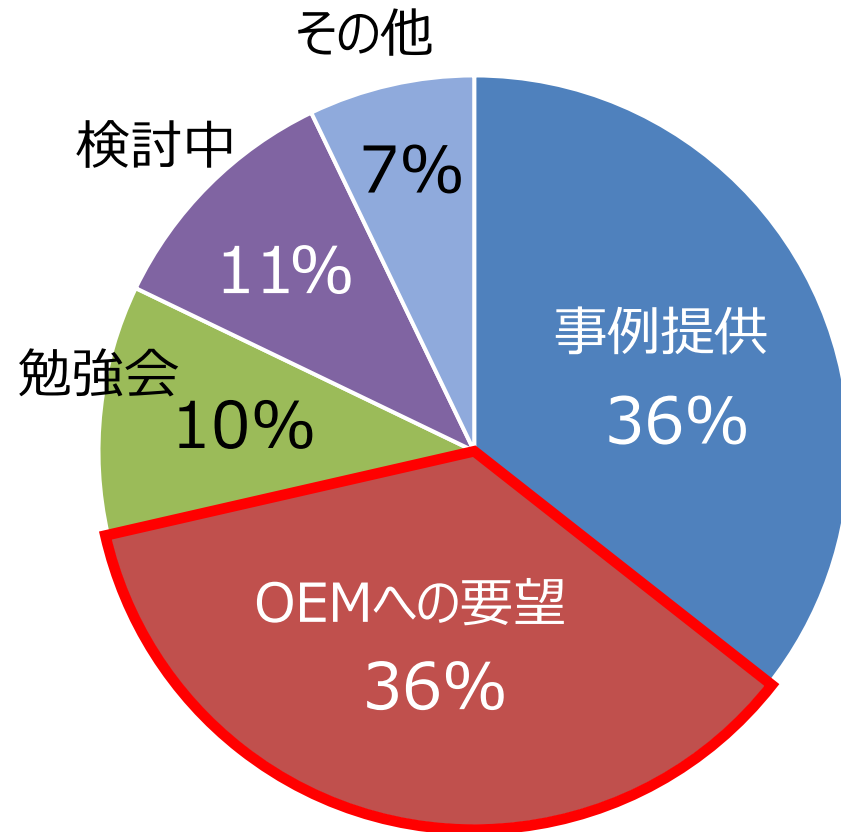
検討中及び開始している企業は全体で約20%

②検討していない企業は、中小企業の方が多い

<製品について想定される影響と対応>

Q1 トラックシャシ電動化による架装動力の問題に伴う車工会への要望

回答：28社



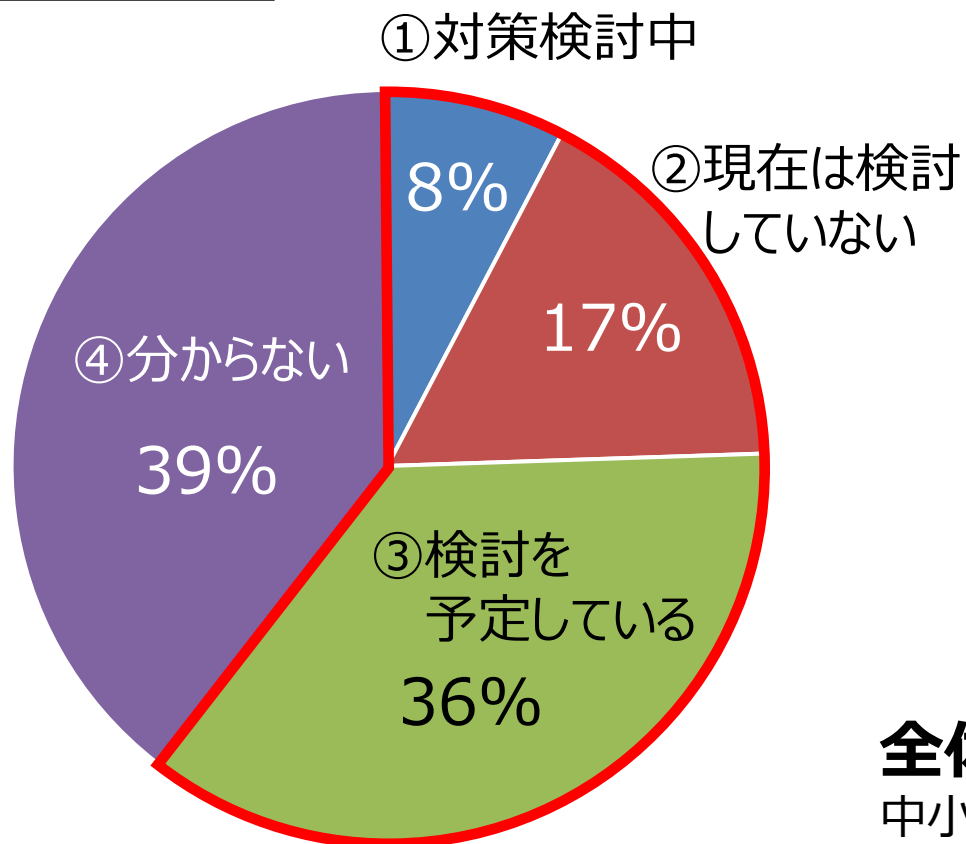
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|----------------------------|
| | 大企業 | トラックメーカーの電動化技術に関する情報展開 |
| | 大企業 | 業界、他社、各国の状況、対応などの情報の収集及び展開 |
| | 大企業 | 対策に関するノウハウや基準・標準について情報提供 |
| | 大企業 | 車工会で協調して電動PTOの設定を働きかけて欲しい |
| | 大企業 | 自工会と連携し、電動化による架装影響の情報交換等 |
| | 中小企業 | シャシメーカーへのPTO設定の依頼 |
| | 中小企業 | 自動車メーカーの動向について定期的な勉強会 |
| | 中小企業 | 対応策を教えてもらいたい |
| | 中小企業 | 既に電動化に向けての製品に移行中 |

シャシメーカー情報提供・連携強化に期待

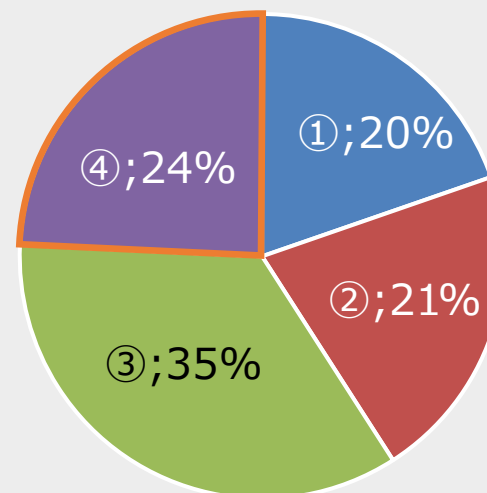
<製品について想定される影響と対応>

Q2 自社が調達する材料、部品、副資材等について、CO2を確認、管理することを検討されていますか？

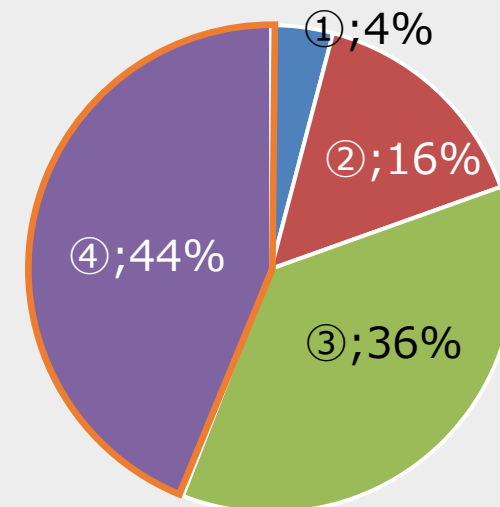
全会員：286社



大企業：66社



中小企業：220社



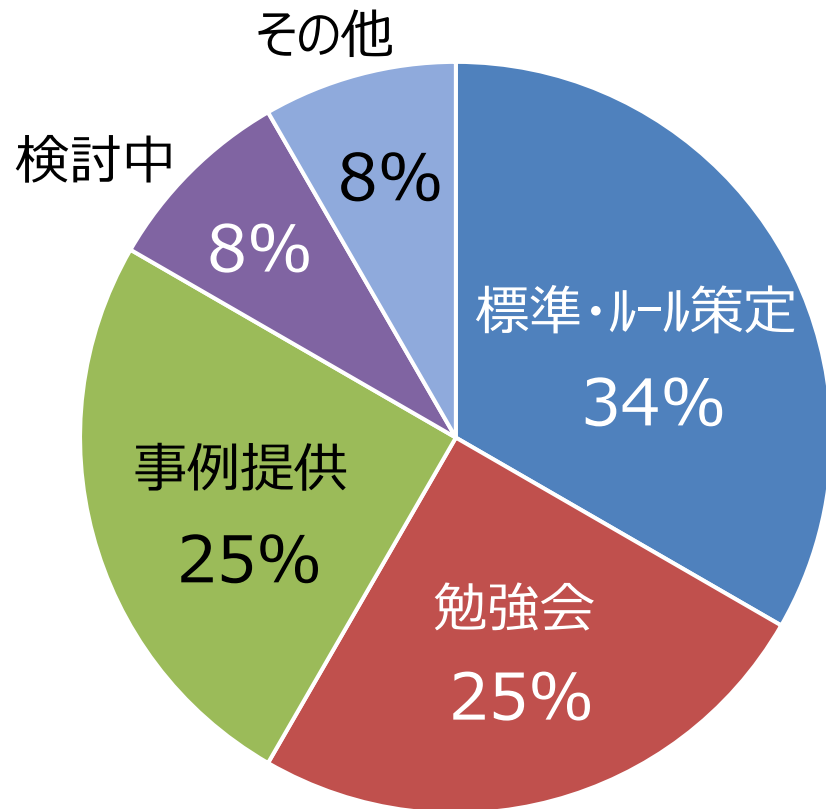
全体で約60%が今後検討を考えている

中小企業は「④分からない」の回答が多い

<製品について想定される影響と対応>

Q2 材料、部品、副資材等の調達に関するCO2対策に伴う車工会への要望

回答：24社



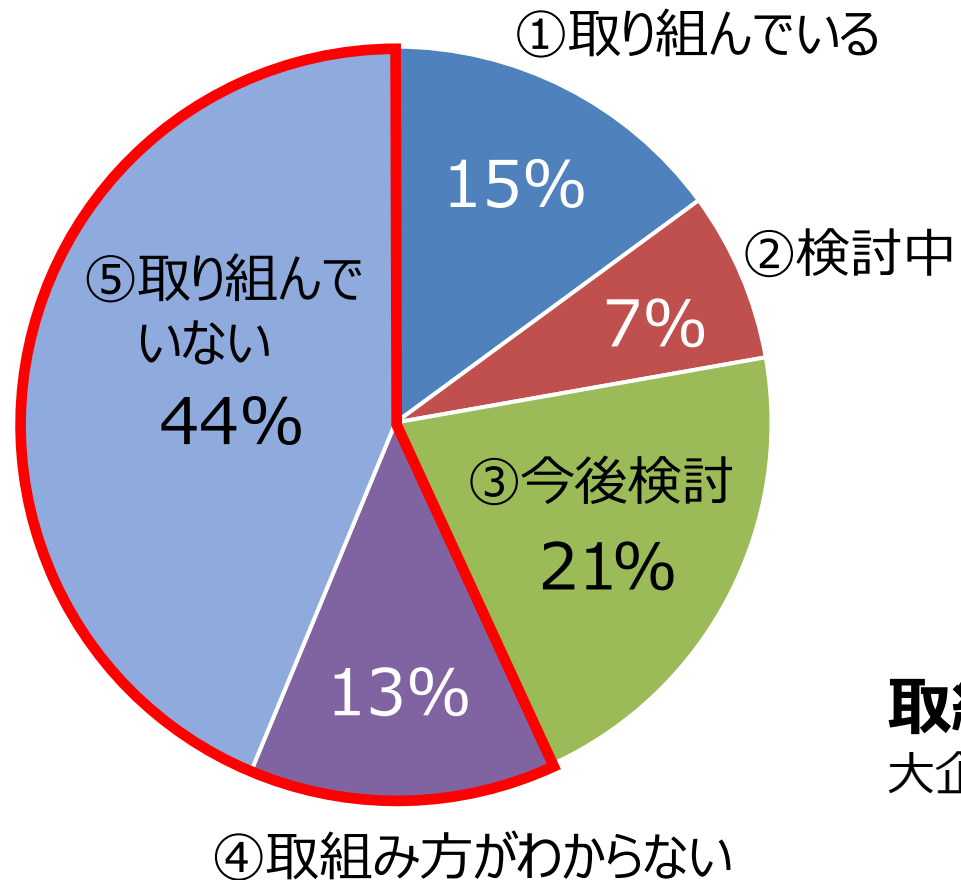
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|----------------------------|
| | 大企業 | 具体的な指針やガイドラインの制定 |
| | 大企業 | Scope3に対する、CO2算出方法の指針 |
| | 中小企業 | CO2の確認、管理方法についての指針など |
| | 中小企業 | 車工会で各材料ごとの重量当たりのCO2発生量の調査 |
| | 中小企業 | 今後どのような管理が要求されるか勉強会を設けてほしい |
| | 中小企業 | 材料・部品製造、輸送段階のCO2数値化方法、手段提供 |
| | 中小企業 | 対象材料や部材が発生するCO2量の情報がほしい |
| | 大企業 | Scope 3 の情報収集が課題 |
| | 中小企業 | 具体的な事例の提供 |

**Scope3についての理解及び
具体的取り組み策の提供**

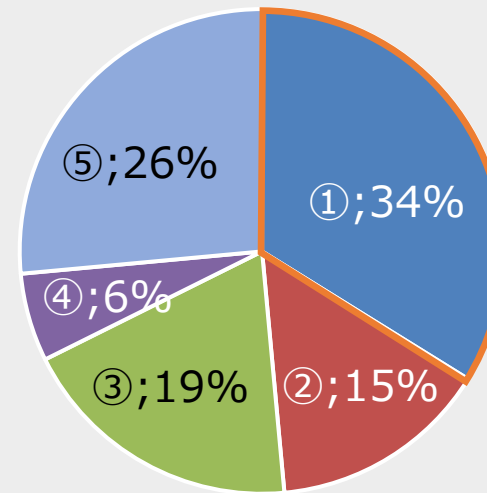
<製品について想定される影響と対応>

Q3 カーボンニュートラルを意識した製品開発に取り組んでいますか？

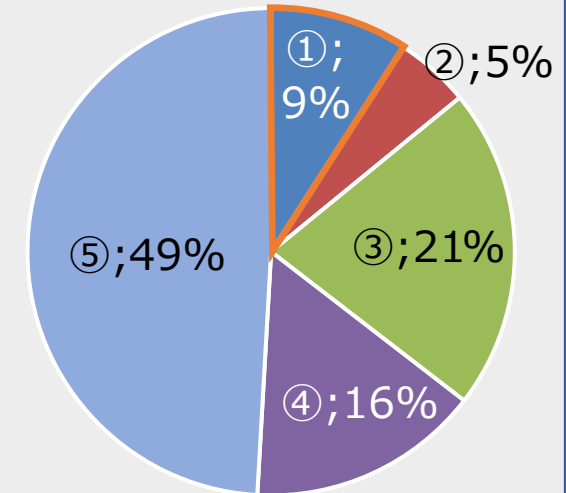
全会員：288社



大企業：68社



中小企業：220社

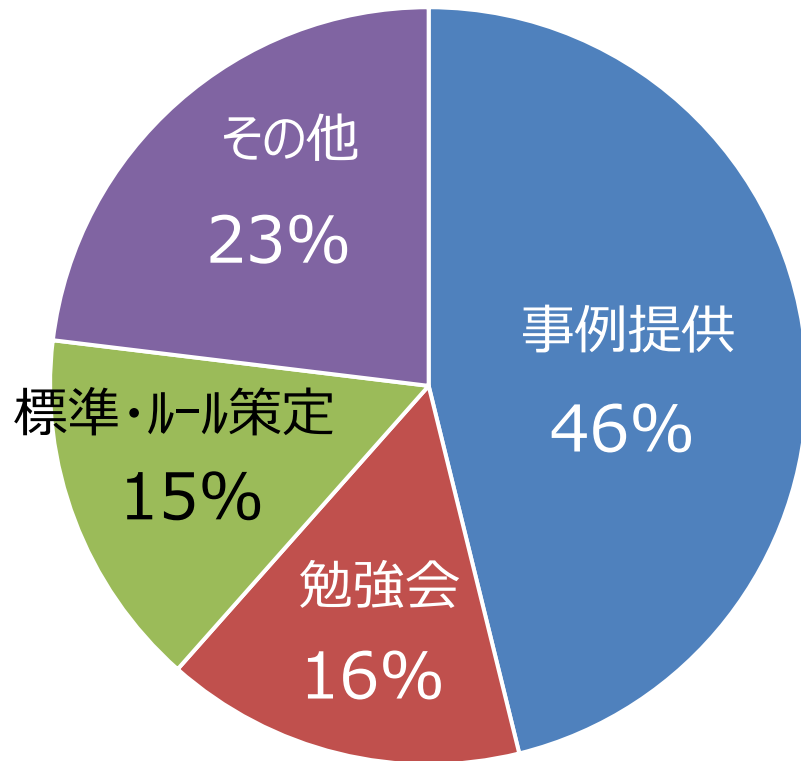


取り組み方が分からない、取り組んでないが約60%
 大企業が取り組み推進中に対し、中小企業は半数が取り組んでいない

<製品について想定される影響と対応>

Q3 製品開発に伴う車工会への要望

回答：13社



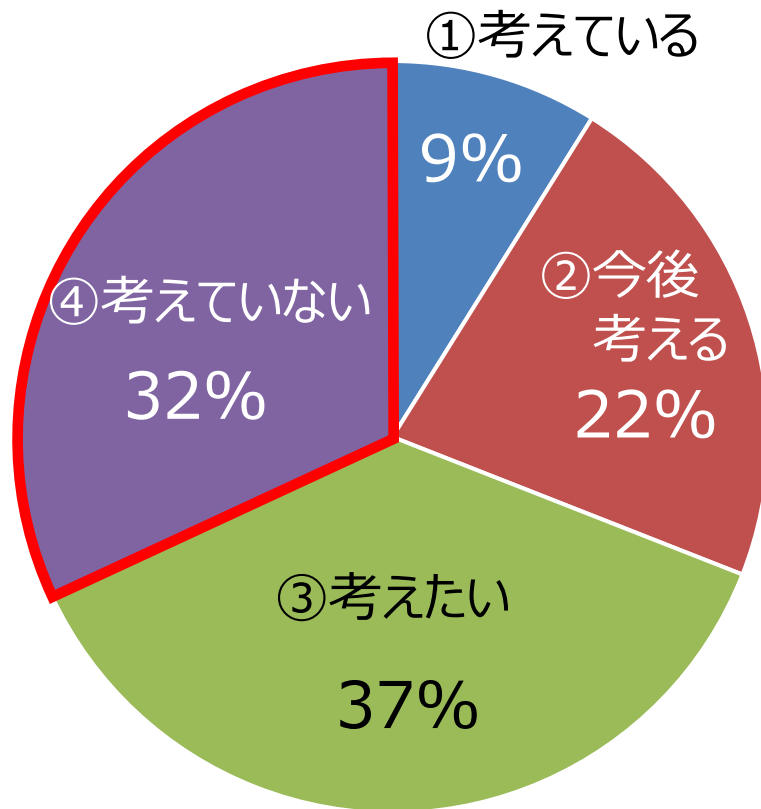
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|---------------------------------------|
| | 大企業 | 他社の実施例などの情報展開 |
| | 中小企業 | 車工会会員の取組内容について情報共有 |
| | 大企業 | 自動車塗装工程におけるCO ₂ 排出の情報開示 |
| | 中小企業 | 今後どのような管理が要求されるか勉強会を設けてほしい |
| | 中小企業 | CN知識を吸収すれば開発の方向性を見つけることができる |
| | 中小企業 | 代表部品別CO ₂ 排出量基準値一覧などがあると良い |
| | 中小企業 | 対策製品のためにはもっと原価がUPする |

製品開発時点での、CO₂排出量算出策の提供

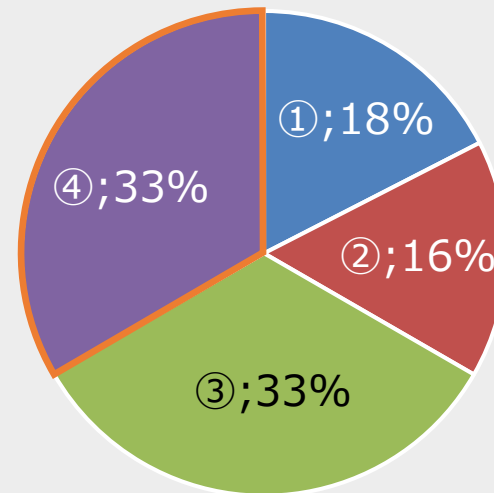
<製品について想定される影響と対応>

Q4 易解体性の向上を図っていく取組みのなかでカーボンニュートラルを意識した活動を考えていますか？

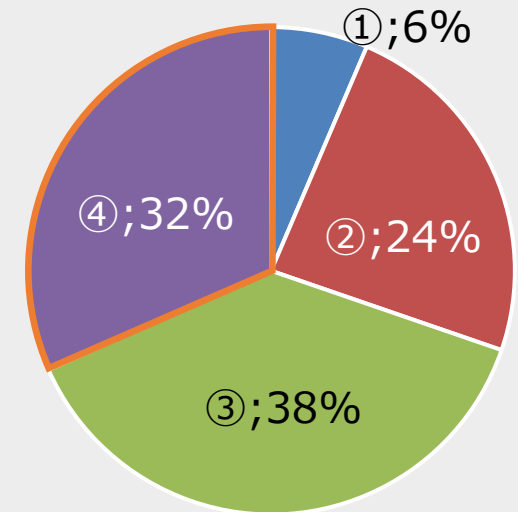
全会員：281社



大企業：63社



中小企業：218社

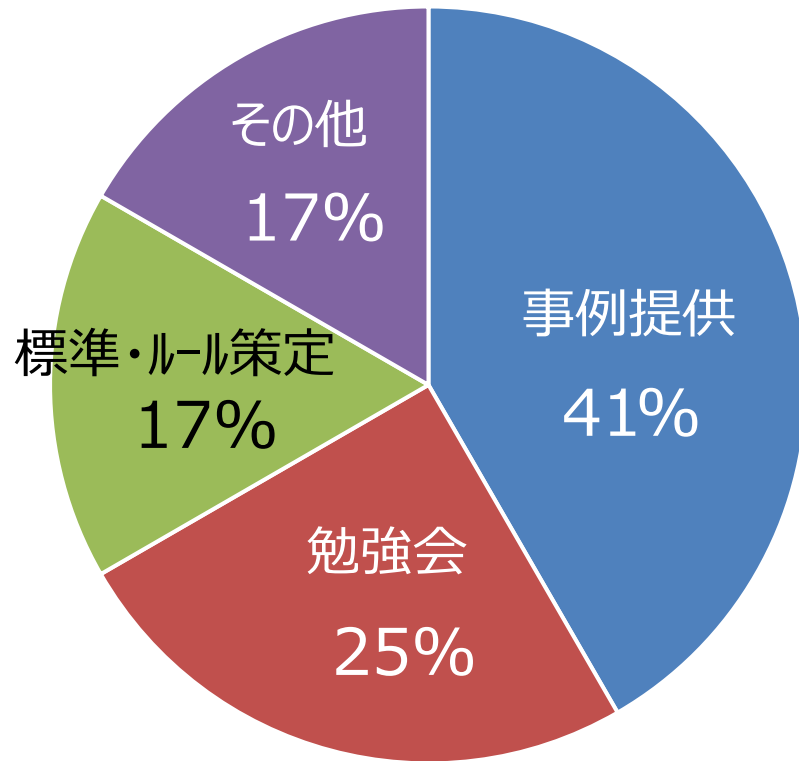


大企業・中小企業に関わらず、易解体性について考えていない会員が約30%を占める

<製品について想定される影響と対応>

Q4 易解体性の向上取組みに伴う車工会への要望

回答：12社



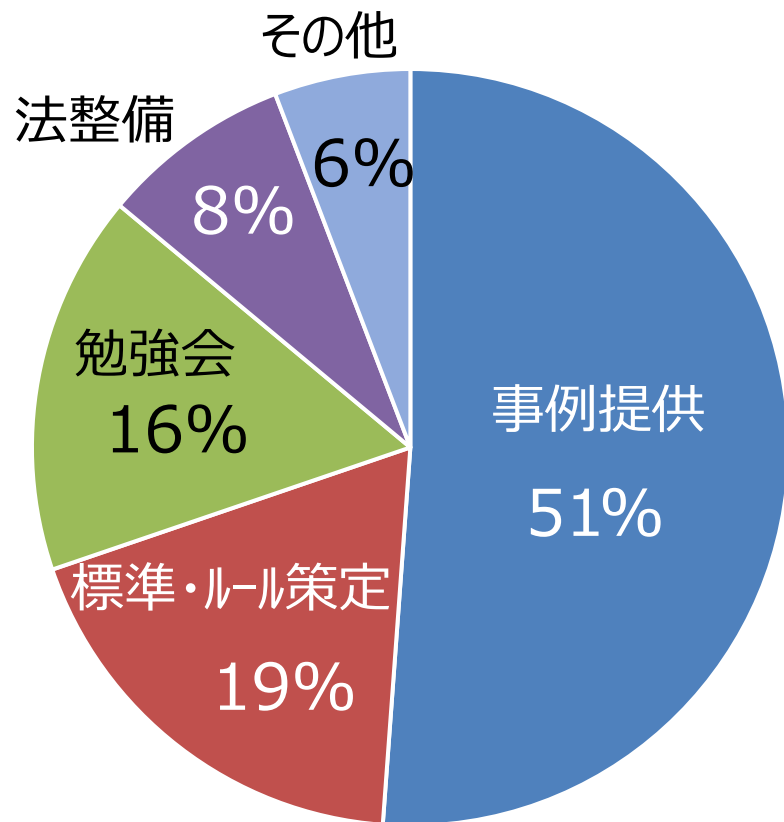
| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|-----------------------------|
| | 大企業 | 最新情報について継続的な展開 |
| | 中小企業 | リサイクル段階でのCO2数値化に関する方法、手段の提供 |
| | 中小企業 | 具体的な事例などの提供 |
| | 中小企業 | 今後どのような管理が要求されるか勉強会を設けてほしい |
| | 中小企業 | 全く考えたこともない、事例等を教えてください |
| | 大企業 | 解体性・リサイクルに関するマニュアルの更なる充実 |
| | 中小企業 | 解体マニュアルが必要と思う、参考事例の提供 |

易解体性の取組みにおけるCO2排出量の提供

<製品について想定される影響と対応>

Q5 技術、法規対応で車工会に対する期待

回答：86社

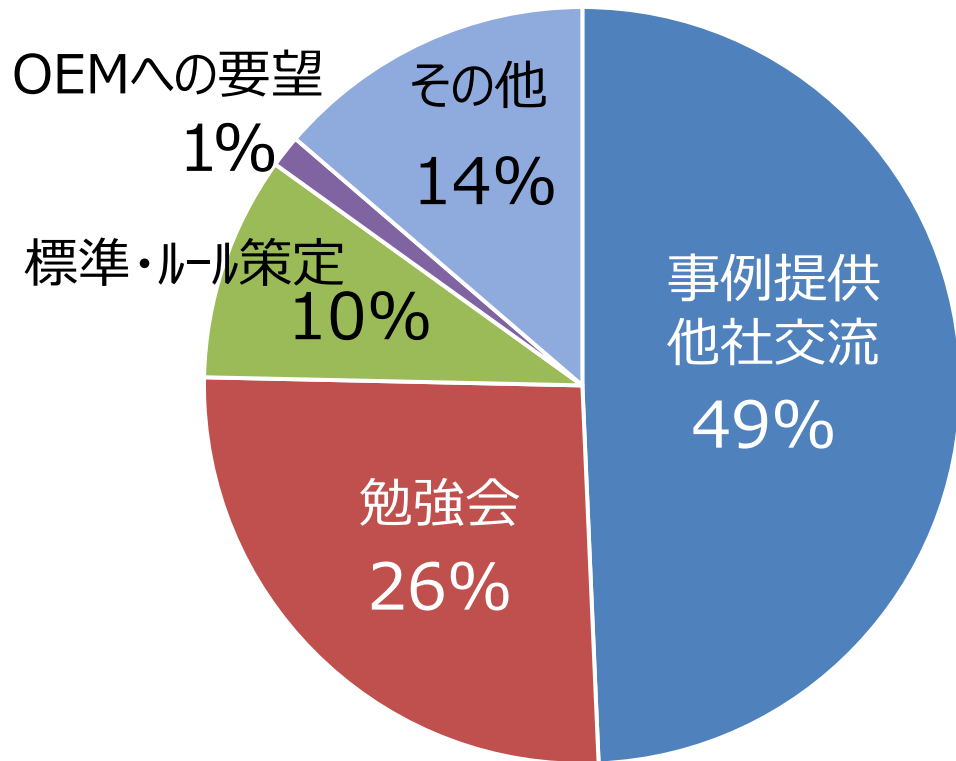


| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|------------------------------|
| | 大企業 | シャシメーカー、架装メーカーにおける動向情報の集約と開示 |
| | 中小企業 | 技術、法規対応の情報を共有 |
| | 中小企業 | 各企業のCN取り組み事例など多くの情報が欲しい |
| | 中小企業 | 車工会内で推進されている企業のモデル紹介 |
| | 中小企業 | 実現に向けた業界としての適切なマイルストーン策定 |
| | 大企業 | 情報発信、勉強会の開催等 |
| | 大企業 | 事業規模、事業内容ごとの法規対応方法の案内 |
| | 中小企業 | 中小企業にも対応可能な法整備 |
| | 中小企業 | 架装物の再利用促進について車両寸法・重量の緩和処置策 |
| | 大企業 | 事業規模、事業内容ごとの法規対応方法の案内 |

<CN活動>

CN活動の進め方への意見等

回答：71社



| 区分 | 企業規模 | 主なコメント |
|----|------|---|
| | 中小企業 | CN活動の方向性が見える技術・事例、失敗例の配信希望 |
| | 中小企業 | 架装するシャシー自体や取引がどう変わるのか影響が心配 |
| | 中小企業 | 限られた人員の中では非常に厳しいのでサポートしてほしい |
| | 中小企業 | 小規模企業にも実施可能な方法で進めてほしい |
| | 中小企業 | 部会別、業種別の活動が必要不可と考える |
| | 中小企業 | 主導的にCN取組みは厳しいため、可能なメニューなどを教授してほしい |
| | 中小企業 | 何をすることが、CNに繋がるかを教えて欲しい |
| | 大企業 | CN勉強会や素材等紹介、展示会を検討 |
| | 大企業 | 国の目標に対して車工会の目標を明確にして活動計画を作成する必要がある |
| | 中小企業 | CN活動の推進には初期投資が不可欠で、中小企業にとっては大きな負担、助成金制度の導入など環境作りが必要 |
| | 中小企業 | 先行する欧州より効果的な取り組みを自動車5団体に期待 |

第1回 CN勉強会 開催結果

開催日時 2021年10月26日（火） 10：00-11：15

開催方法 Teamsによるオンライン開催

内 容

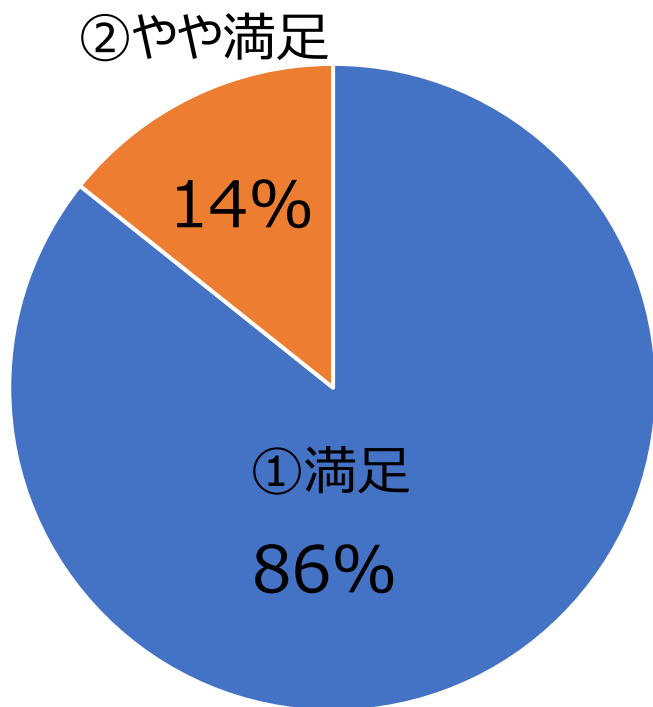
- ・カーボンニュートラル(CN)とは？
- ・アンケート結果
- ・CNに何故、取組む必要があるのか？
- ・CN取組みの進め方
- ・まとめ（さいごに）

講 師 トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長

勉強会アンケート結果

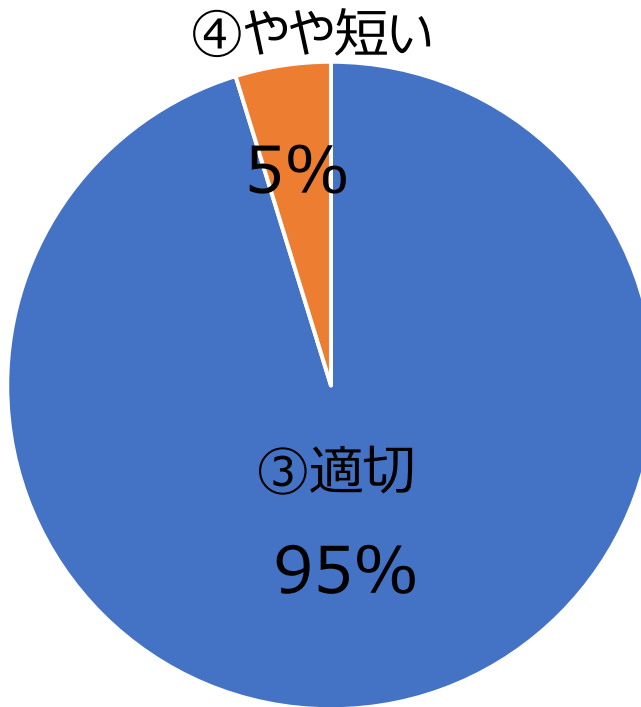
Q1 今回の勉強会はどうでしたか？

1.勉強会の内容



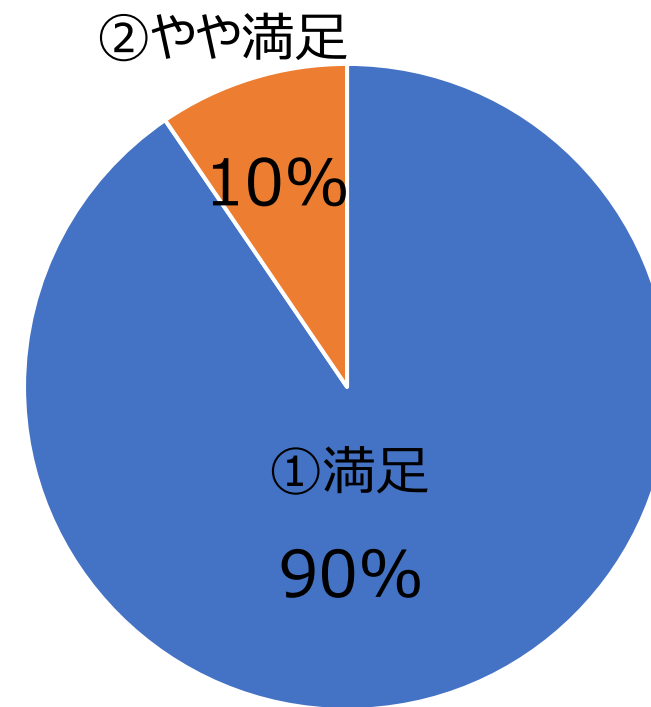
①満足 ②やや満足 ③どちらでもない
④やや不満 ⑤不満

2.勉強会の時間



①長い ②やや長い ③適切
④やや短い ⑤短い

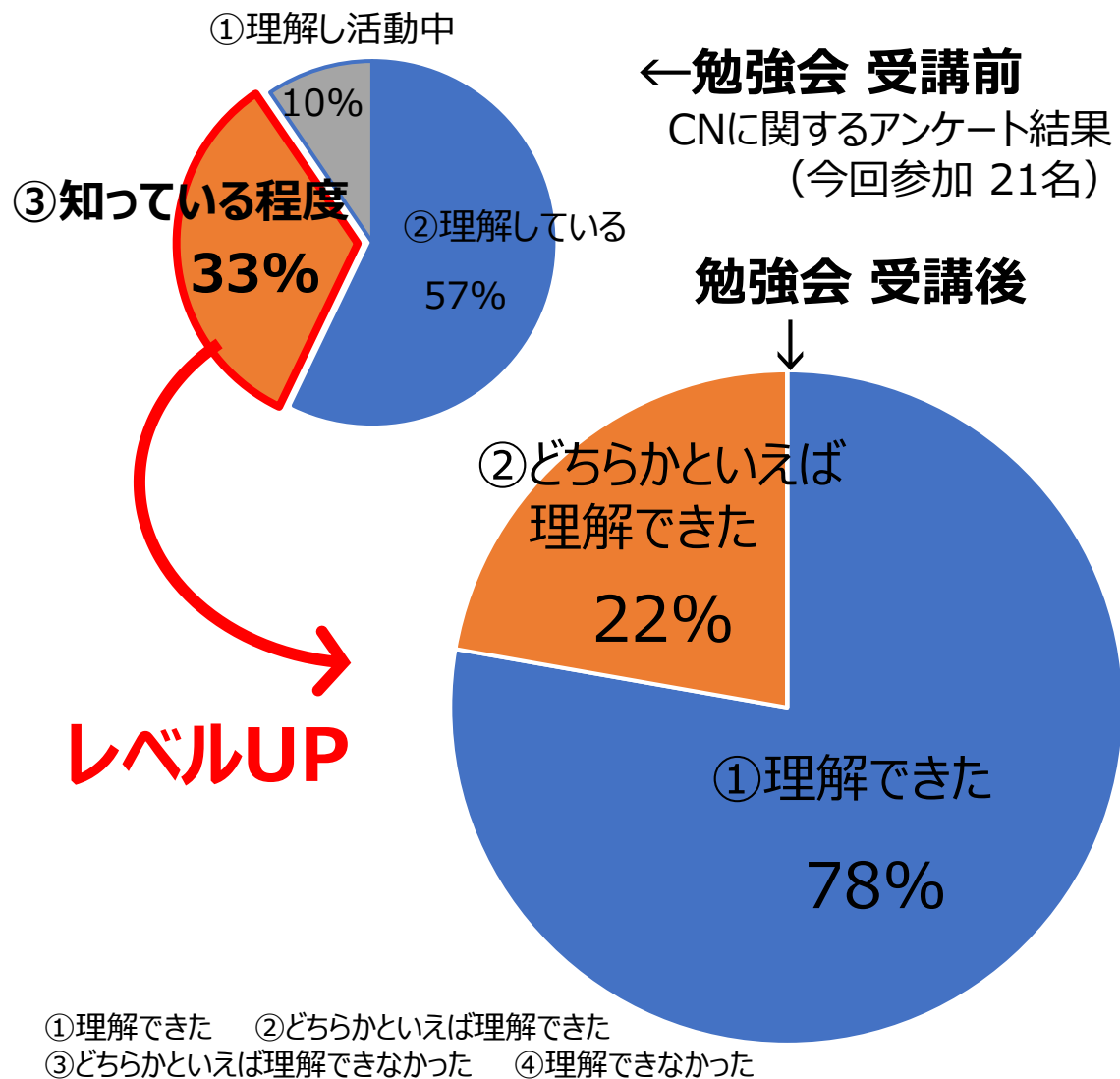
3.全体を通して



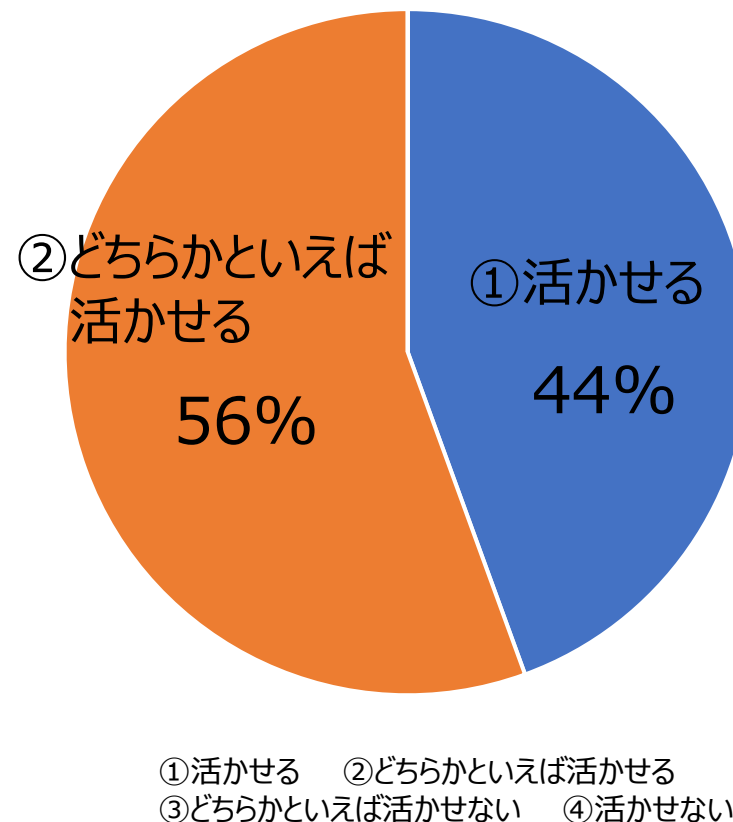
①満足 ②やや満足 ③どちらでもない
④やや不満 ⑤不満

勉強会アンケート結果

Q2 勉強会の内容は理解できましたか？



Q3 今回の勉強会に参加されて、自社のCN取組みに活かせると思われましたか？



勉強会アンケート結果

Q4 今後CNについてどのように取り組みますか、行動しますか？（抜粋）

| | |
|---|--|
| 1 | 先ず、今後の社内展開をどのように進めるか。会社TOPとの協議が必要と考える |
| 2 | 日頃の目標を愚直に、今までの活動（省エネ）に新たなアイテムを見つけ進める |
| 3 | 現状把握と今後の取組みとして何が出来るか、自社に委員会を設置して取組む必要がある |
| 4 | 社内でのCN勉強会・エネルギー使用量の把握・省エネ活動の推進を行う |
| 5 | お客様使用におけるCO2削減や購入品など供給者とのCO2削減推進（Scope3分野） |

Q5 本日の感想、ご意見、ご要望（抜粋）

| | |
|---|--|
| 1 | 自社規模がどのレベルにあるのか知りたい、指標があるとそれを全社の目標として進めやすい |
| 2 | 効果の確認が非常に重要と理解した。効果の確認方法事例もあれば提供をお願いしたい |
| 3 | 部会単位で限定するなど、より少人数の方が内容の濃い勉強会になると思う |
| 4 | 今後は「環境経営」の視点も加えると更に良いのではないかと思う |
| 5 | Scope3分野での把握についてどのように進めるべきか、情報が欲しい |

今回の勉強会でCNの取組み内容・必要性をご理解いただけた

第2,3回 CN勉強会 について

1. 開催日時
第2回 12月2日(木) 10:00~
講師 トヨタ車体 杉山室長
第3回 12月20日(月) 10:00~
講師 日産車体 薬丸部長
2. 所要時間 75分(予定)
3. 内容 アンケート結果より、第1回と同内容とする
(一部アップデートを講師に一任)

次回の受講者募集について

CNに関するアンケート（7/16～10/4）結果より

【理解度：C、D】の中小会員を対象に募集

CN理解度（アンケート『Q1 CNについて知っていますか？』の回答から層別）

（受講済）

A：①内容を理解し、社内活動を行なっている 22社（2社）

B：②内容は知っている 125社（9社）

C：③言葉だけは聞いたことがある 65社（7社）

D：④知らない 6社（0社）

カーボンニュートラル（以下CN） 取組み状況

1. アンケート集計結果

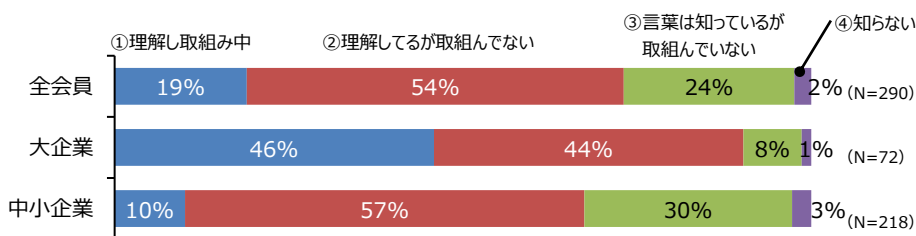
会員の皆様にご協力頂きましたCNに関するアンケート結果につきまして皆様と共有させていただきます。「パンフレットその2」では、全会員の状況を報告いたしましたが、今回は、大企業、中小企業毎に分類し、自社の状況とともに同規模の会員様の状況につきましても確認頂けるようにいたしました。

また、アンケート結果につきましては、現在取り組んでおります、会員様を対象とした勉強会内容の参考とさせて頂いております。今後も会員の皆様が発炭素化の動きに適切に対応していただくため、会員の皆様と『手をつないで進めていきたい』との考えに基づき、取り組んでまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします

1) CNについての理解、意識について

【CN理解度】

Q1 カーボンニュートラルについて知っていますか

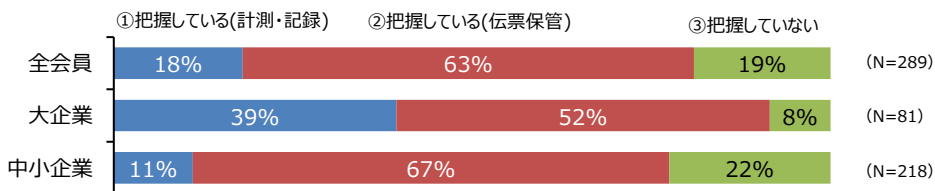


中小企業： 資本金 3億円以下
 従業員 300人以下

CNに取組む必要性など、基本的な情報の提供が必要

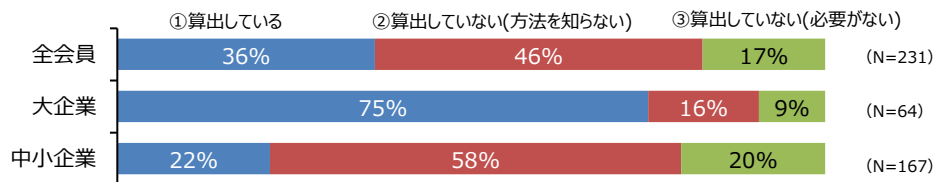
2) 主な項目について（生産領域）

Q2 自社の企業活動で使用する、電気等のエネルギー使用量を把握し、記録をしていますか？



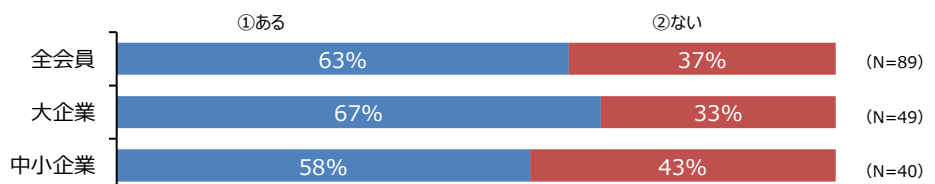
エネルギー使用量の把握はCN取組みの基本であり、料金同様に関心をもって管理することが大切

Q4 把握しているエネルギー使用量から、CO2排出量を算出していますか？



簡易ツールで算出することで、自社のCO2排出量を知り、CNを身近に感じる必要がある

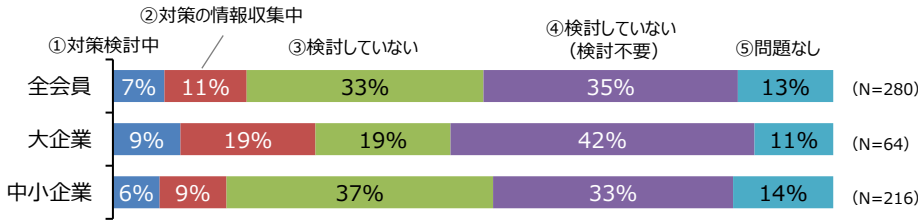
Q6 (CO2排出量を把握している会社のうち) CO2低減目標はありますか？



CN目標設定の理解や支援活動が必要で、車工会としての方針の検討と展開に取り組む

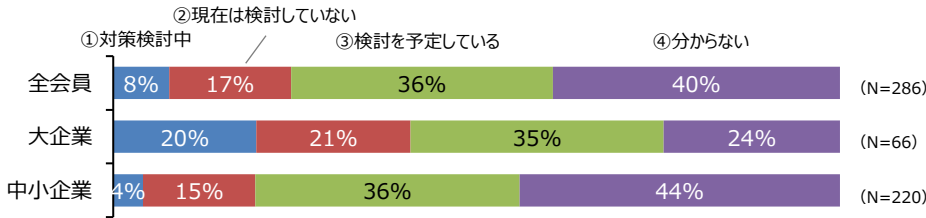
3) 主な項目について（製品領域）

Q1 トラックシャシ電動化に伴う架装用動力の問題について対策は検討されていますか？

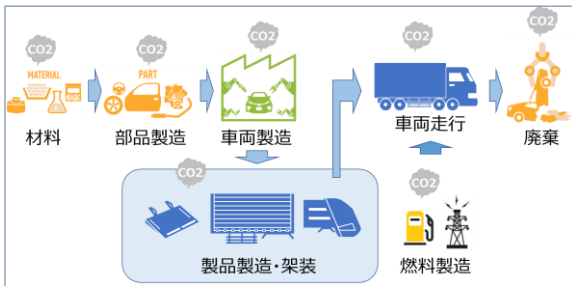


架装物動力源検討WGを軸に、電動化対応の検討及び情報発信を行い、個社の取組みに活用いただく

Q2 自社が調達する材料、部品、副資材等について、CO2を確認、管理することを検討されていますか？



※LCAでのCN取組みを理解し、進め方の事例等を共有



引用：「資源エネルギー庁説明資料（自工会）」

※LCA（Life Cycle Assessment）：ライフサイクルアセスメント
ある製品・サービスのライフサイクル全体
＜資源採取→原料生産→製品生産・架装→流通・消費→廃棄・リサイクル＞
または、その特定段階における環境負荷（例えばCO2排出量）を定量的に評価する手法で、CNはLCAで取り組んでいくことが重要です。

2. 車工会の取組み

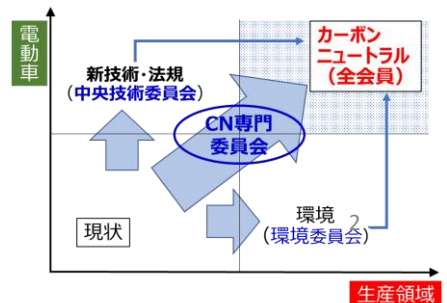
➤ 「CN専門委員会」での論議、進捗確認を行い、計画に基づき推進しています。自動車※5団体活動との連携では、さらに政策要望についても論議、検討し、提案していく計画です。

| Step | 取組み | 内容 | 状況 |
|------|------------|--|---|
| 0 | 現状調査 | ・会員様のCNに対する意識、課題の把握 → アンケート実施、完了 CN対応状況や課題の洗い出し、進め方整理 | ・100%回答頂き分析完了 |
| 1 | 理解活動 | ・パンフレット作成、展開、車体NEWS掲載 ・勉強会、説明会、講演会 実施 ・各種情報提供（含む5団体活動） | ・パンフレット1～3 会員展開済、車体NEWS秋号に掲載済 ・10/26第1回勉強会実施済、第2回12/2、第3回12/20計画 |
| 2 | 現状把握 | ・現状での個社CO2排出量算出ツール提供 ・会員各社状況把握と対策検討、実施 | ・CO2排出量算出ツール【簡易版】8/31展開済 |
| 3以降 | 目標設定と対応策検討 | ・個社目標値設定に向けた取組み ・対策支援活動検討、推進 ・対策状況の見える化（対策状況把握ツール） | ・個社目標設定に向け、車工会目標検討中 → 自動車5団体活動と連携し設定 |

※ 5団体：日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車販売協会連合会

➤ 引き続き、本部委員会、各部会、各支部と連携し、「CN対応の取組み」における、電動車（技術）、生産領域への対応と「中小会員支援策」に会員の皆様と『手をつないで』進めてまいります。

➤ 本パンフレットも参考にいただき、お問い合わせはもちろん、困り事がございましたら、事務局までご連絡くださるようよろしくお願いいたします。



【5団体合同事務局】課題・取組事項整理（まとめ）

| 観点 | 要検討 | | 10/中 | 活動項目 | 活動スケジュール | | | | | | | | |
|----|-------------------------------------|---|----------------------------|-------------------------------|--|-------------------------------|----------------------|--|---|----------|------------------|----|----|
| | 誰が(実施主体) | | 各団体リーダー | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
| | 5団体トップ | | 5団体 | トップ懇談会 | | ●11/18 (仮) | | | | | | | |
| ① | 知識・知見の共有 | 各団体で検討(自団体の課題を踏まえ) 必要に応じて、個々の団体同士で連携・協力 ※5団体連携のニーズあれば推進 | | 5団体 | TEAMSを活用した情報共有 セミナー等による情報提供等 | | | | | | | | |
| ② | 好事例・活動事例 | | | | 取組事例等の提供(5団体HP等) | | | | | | | | |
| ③ | 基準・目標 | 全体管理 | 自工会 | 自:高橋、一ノ瀬 | | | | | | | | | |
| | | 政府渉外 | 総合政策委員会 | 自:高橋 部:尾関 | 独禁法、業界標準化の確認・調整 (経産省 等) | | 確認・調整 ex | 政府の標準化への考え方、電池の取組みと位置付け(業界標準? 政府が認めた標準?) | | | | | |
| | | ツール ルール | 自工会:LCA分科会 (部工会:LCA分科会) | 自:川口/田伏 (部:伊藤/棚橋) | 自工会LCA評価・算定方法の構築および標準化 | | | | バウンダリー整合、要求データ精度整合、奨励Tool検討など分科会の取組の推進活動(検討期間精査中) | | | | |
| | | 周知 | OEM:SC委員会 ※部工会と連携して実施 | 自:一ノ瀬 (部:尾関) | LCA統一基準の展開・運用の周知 | | | | 上記両分科会でLCA統一基準構築後、部工会と連携して周知・展開(OEM、5団体HP等) | | | | |
| | 2団体外 展開 | 車工会:CN専門委員会 自機工: | 車:森田 機:佐藤 | 上記活動の情報共有と会員展開 | | 展開方法、スケジュール検討 | | | | | | | |
| ④ | 自社のCN化 (工場・設備・生産現場等) SCOPE1,2 | 自工会 SC委員会 | | 自:一ノ瀬 | 見える化・減らす活動の共有 ①勉強会: OEM各社の取組、課題認識等の学び合いを共有 ②LCA分科会との情報交換、課題の共有 | 10/29 CN活動共有(調達部会正副+LCA分科会正副) | 11/2 CN勉強会(調達部会+経産省) | 12/1 CN勉強会(調達部会+経産省) | | | | | |
| | | 5団体準備会合 | | 自:一ノ瀬 部:尾関 車:森田 機:佐藤 | 自社のCO2排出量算出(部) ※理解が不十分な中小企業中心 | | 算出方法周知 | 算出 | | | | | |
| | | | | | 活動推進に向けた問題把握・対応(部) ※理解が不十分な中小企業中心 | | | 問題把握 | 対応(情報展開が主) | | | | |
| | | | | | 自社の目標・アクションP立案・実行(部) | | | | | 立案 | | 実行 | |
| | | | | | CN勉強会、問題把握・対応(車) | #1 ●10/26 | 車工会CN勉強会(#2,3) | 問題把握 | 対応(情報展開が主) | | | | |
| | | | | | サポート必要な企業への支援(短期:5団体) | | 支援内容検討、支援先企業選定 | | 支援先との調整 支援実施 | 実施後の活動検討 | | | |
| | | | | | サポート必要な企業への支援(中長期:中小機構) | | | | 支援内容、5団体の関わり検討 | | 中小機構、5団体支援企業との調整 | | |
| ⑤ | SCのCN化 (上流・下流) SCOPE3 | 2団体 | 自工会:SC委員会 部工会:調達・生産部会 | 自:一ノ瀬 部:齋藤 | 情報交換会(自・部) | | ●11/中旬 | 適宜開催 | | | | | |
| | | | | | 調達部門の実態把握(部) | 調査項目整理 | 調査 | 問題掘下げ | | | | | |
| | | | | | 活動項目立案・展開 (SCでの見える化・減らす化に向けた調達部門の活動) | | | | 活動項目立案 | | 展開準備 | 展開 | |
| | | 2団体外 展開 | 車工会:CN専門委員会 自機工: | 車:森田 機:佐藤 | 上記活動の情報共有と会員展開 会員企業の実態把握 | 情報共有 | 意見交換 | 課題整理 | 以降、自工会・部工会の取組みを参考に検討 | | | | |
| ⑥ | 新事業創出・事業転換 | 5団体準備会合 | | 自:一ノ瀬 部:持丸 車:森田 機:佐藤 | 活動事例洗い出し・展開 | | 事例洗い出し | | 事例展開準備 | 事例展開 | | | |
| | | | | | 新規事業のマッチング検討 | | 検討 | | | | | | |
| | | | | | 公的支援制度の洗い出し | | 適宜 | | | | | | |
| | 自工会会員企業 | | 自:井上 | OEM各社CN計画の纏め | | | 適宜更新 | | | | | | |
| ⑦ | 政策要望 | 5団体準備会合 | | 自:高橋 部:内野 車:森田 機:佐藤 | 政治・政府関係スケジュール見える化 見える化(現状整理) | | 適宜更新 | | | | | | |
| | | | | | 要請計画立案 | | 立案 | | 立案 | | | | |
| | | | | | 要請活動 | | | | | | | | |
| ⑧ | 他業界との連携 | | | 自:高橋 | | | | | | | | | |
| ⑨ | 電動化対応 | 2団体 | 自工会: 車工会:架装物動力源WG | 自: 車:森田 | 困りごと、課題の整理 | ●10/28 WG#2 | 取組み詳細検討 | 以降未定 | | | | | |